

議会だより

- ◆議会新体制スタート 2ページ
- ◆6月定例会のトピックス 3ページ
- ◆質疑・討論 4ページ
- ◆一般質問 5～9ページ
- ◆委員会報告 10ページ
- ◆まちかど散策・編集後記 14ページ

100万人のキャンドルナイト“ゆっくり荘”
(詳細は裏表紙をご覧ください)

第107号

6月定例会のトピックス

6月定例会を6月7日から20日までの会期で開きました。

平成23年度一般会計補正予算を中心に、提出された10議案、陳情1案件を慎重審議し可決・採択されました。

請願1案件につきましては、討論の結果不採択となりました。

TOPICS

議案第47号 平成23年度高浜町一般会計補正予算（第2号）

生涯スポーツの普及・促進

全員賛成
可決

〔工事の名称〕 雨天用屋外体育施設新築工事 〔工事の場所〕 高浜町中山13-26-1他
〔工 期〕 着工：平成23年8月予定 完成：平成25年3月31日
〔工事の概要〕 建築面積：2,015㎡、スポーツ活動面積：1,647㎡
ゲートボールコート3面
フットサルやイベントに利用可能



予算額 3億9,846万6千円 7月入札予定



TOPICS

議案第57号 平成23年度高浜町一般会計補正予算（第3号）

災害復旧事業（台風2号） 6,304万8千円を緊急補正

全員賛成
可決

5月末に記録的な豪雨。町内各地で被害発生。

〔豪雨被害件数〕

〔台風2号降雨量〕

24時間雨量：332mm 1時間雨量：28mm

・農地/37件 ・農道/12件 ・農業用施設/21件

・林道/13件 ・観光/5件



高浜町議会構成表

議 長 的場 輝夫 副議長 栗野 明雄

■常任委員会

総務産業 7人	厚生文教 7人	予算決算 13人
・委員長 磯部 武史 ・副委員長 井ノ元康夫 ・委員 清常 光洋・勝本 繁昭 西出 秀雄・的場 輝夫 山本 富夫	・委員長 横田 則孝 ・副委員長 廣瀬とし子 ・委員 大塚ひとみ・小幡 憲仁 渡邊 孝・上尾 徳郎 栗野 明雄	・委員長 西出 秀雄 ・副委員長 清常 光洋 ・委員 議長を除く全員

■議会運営委員会 6人

・委員長 小幡 憲仁 ・副委員長 横田 則孝	・委員 磯部 武史・西出 秀雄・勝本 繁昭・渡邊 孝
---------------------------	----------------------------

■特別委員会

原子力対策 13人	鳥獣害対策 7人	地域医療対策 6人
・委員長 清常 光洋 ・副委員長 上尾 徳郎 ・委員 議長を除く全員	・委員長 山本 富夫 ・副委員長 井ノ元康夫 ・委員 横田 則孝・栗野 明雄 勝本 繁昭・西出 秀雄 渡邊 孝	・委員長 廣瀬とし子 ・副委員長 上尾 徳郎 ・委員 大塚ひとみ・磯部 武史 清常 光洋・小幡 憲仁

広報 6人

・委員長 磯部 武史 ・副委員長 大塚ひとみ ・委員 上尾 徳郎・井ノ元康夫 廣瀬とし子・清常 光洋	若狭消防組合議会議員…大塚ひとみ・井ノ元康夫・山本富夫 嶺南広域行政組合議会議員…勝本繁昭・西出秀雄 福井県後期高齢者医療広域連合議会議員…的場輝夫 高浜町監査委員…小幡憲仁
---	--



議長就任のご挨拶

議 長 的 場 輝 夫

3月11日東北大地震と呼ばれる大規模地震・津波・原発災害が発生し、その被害・影響の凄まじさは、かつて経験のない深く・恐ろしいものでした。日本のみならず、世界中の関心と支援を受けつつ、日本の新しき復興を確実に成し遂げ、世界の人々に貢献可能な国として再生させる責任を、全国民が自覚しなければなりません。

特に、我が高浜町にとって福島原発の現状は、言い表し様のない「困惑」を町民各位に与えるものであり、町の将来に決定的な影響を与えかねない重き課題の提起でもあります。「安全・安心」が最優先に確保されるは当然であるが、「雇用・健全財政の担保」もまた、故郷の将来にむけて避けて通れない課題でもあります。

町民の皆様と共に、議会はこの重き課題に対処してまいります。

副議長就任のご挨拶

副議長 栗野 明雄

新緑の季節から夏本番という時を迎え、高浜の夏への期待もふくらむ時期であります。

4月の改選に伴う議会の組織替えにて、副議長に就任致しました。

高浜町も、3月11日の大震災を受け、防災、原子力防災に從來以上の想定が必要になりました。

高浜町民の安心安全を守り、活力あるふるさとを想像すること、微力ながら努力をさせて頂ければありがたいと思います。

今、時代は大きな曲がり角にあります。人口減少社会。右肩下がりの経済。ふくれあがる国の負債。その中で高浜町の活力を保ち、希望のある高浜になるよう、議員一丸となって励めるように、議長の補佐をさせて頂きたいと思ひます。

町民と議会・行政のパイプ役としてお役に立てることを願ひ挨拶と致します。

新人議員紹介

大塚ひとみ



議会を身近に感じていただけるように…。いつも笑顔で心を込めて仕事に取り組んでいきます。

上尾 徳郎



議員として、私なりに頑張っています。皆さんの代表として職責を誠実に果たしてまいりますのでお願い致します。

廣瀬とし子



町民の付託に応え町議としてやるべき事を考え、私の初心を貫き目標を達成出来る様、日々努力します。

質疑 議案第47号

平成23年度高浜町
一般会計補正予算(第2号)

高浜けいあいの里増床
舞鶴市にも補助金を

小幡憲仁議員

高浜けいあいの里の利用者は舞鶴市民が55%とあるが、舞鶴市にも補助金を負担してもらえないのか。

許認可の権限が県や府にあるためか、けいあいの里も舞鶴市には補助を求めている。

逆に、高浜町民が利用する舞鶴市の施設から補助金を要請されることはない。

まちづくり課の

業務が多すぎないか

渡邊 孝議員

農林水産振興室をまちづくり課内に設けるということであるが、課の仕事が多すぎないか。

農林水産事業がハードとソフトに分かれたことによる弊害や、課の肥大化を招いていることは否めない。今回マイナーチェンジを行うが、新庁舎の建設を念頭に置いて組織の見直しを行っていく。

質疑 議案第57号

平成23年度高浜町
一般会計補正予算(第3号)

災害復旧費、国・県の
支出金はないのか

山本富夫議員

海岸漂着物の撤去には県の予算も使えるようだが、その他農林業に関する被害や道路などには国・県の支出金は使えないのか。

今回は、災害対応は調査設計業務委託料で町で負担しなければならぬ。

災害認定基準があり、調査設計したものも国庫事業、県単独事業という順序で、対象になるべく努力していく。

6月補正予算の結果

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	7,460,689	876,749	8,337,438
公共下水道事業特別会計	600,617	29,568	630,185
公有水面埋立事業特別会計	87,251	308,864	396,115
水道事業特別会計	193,496	15,796	209,292

■一般会計の6月補正予算の規模は8億7,674万9千円。この結果、一般会計の予算現計は83億3,743万8千円となる。

討論

請願第1号

「非核平和都市宣言」採択についての請願

反対

栗野 明雄 議員

「非核」という文言は、原子力と共存共栄している高浜町にはなじまない。採択すれば、原子力の見直し、脱原発につながる。

賛成

山本 富夫 議員

核戦争が勃発すれば世界が壊滅する恐れがある。非核三原則の下、核兵器の廃絶を求める宣言文である。

6対6賛否同数

原発に汚染水浄化装置を

答弁 必要とあらば指示・対応を

磯部 武史 議員

【磯部】

福島では、原子炉建屋などに溜まっている10万トンを超す高濃度汚染水が、外部に漏れ出る恐れがあり、汚染水浄化装置の稼働を急いでいる。

高浜原発でも緊急対策が施されている。

冷却機能喪失時、消火水や海水等を注入する対策をとるなら、循環注水冷却対策も必要である。

十分検証し、国や事業者が汚染水浄化装置の配備を求める考えはないか問う。

【町長】

原発の安全対策は、福島事故の検証結果を踏まえ適宜国、事業者が対応する。

高浜原発の緊急安全対策は適切である、国の報告を受けている。今後、中長期的な対策が進んでいく中、必要となれば行政として指示・対応をしていく。

◆寝室にも災害警報を

【磯部】

J-ALERTの導入により、災害などの情報が瞬時に伝えられることになった。

各家庭に有線放送の告知器があるが、深夜などに警報が発令されても聞こえない家庭が多い。

火災警報器の設置が義務付けされたが、設置場所は寝室である。本年度、告知器の更新が予定されている。

希望者には寝室に警報が聞こえる対策が必要では。また、各警報に合わせた避難場所・経路の周知を図るべきではないか。

【総務課長】

更新予定の告知器は、現在のものより音量が大きく持ち運びできる。複数の部屋での受信には、外部スピーカーが必要になるが、各々での対応をお願いしたい。

配布予定である「総合防災ガイドブック」で避難所、危険箇所、避難ルートを確認していただきたい。

【井ノ元】

以前の定例会でも質問したが、県道音海中津海線、舞鶴野原港高浜線の原子力災害時の避難道路について。東日本大震災以降、その必要性を強く感じている。進捗状況と、町長の避難道路としての認識を問う。

【町長】

大震災以降、避難用道路の重要性を再認識し、その後も国・県・関係機関へ整備要望を行っている。また、県道音海中津海線や舞鶴野原港高浜線において、5月30日未明の大雨による土砂崩れにより通行規制がかかるなど、早期対応すべき問題であると認識をたかめた。

一次整備は終わったが急カーブや急勾配など、危険な箇所も残っていることから、二次的な改良整備を進めるとともに、現在、当路線と交差する国道27号線との中寄交差点や難波江交差点の改良整備についても、測量調査設計を行い、地元協議を進めている。

避難道路の進捗状況について

答弁 早期対応すべきと認識

井ノ元 康夫 議員

防災道路として、日常生活に密着した路線である。大震災や土砂災害を教訓にして一刻も早く国ならびに県当局が主体で直ちに事業化できるよう、粘り強く要望する。

【井ノ元】

県道被害での迂回路の見直しと、整備が必要ではないか

【町長】

県道の迂回路、町道アクセス・避難道路の整備計画の位置づけは重要であると認識している。国・県・町・事業者の役割を、明確にしていく。

【財源に

ついては国が一定の財政措置を行うよう立地協でも検討している。



県道音海中津海線



災害時応援協定と姉妹都市について

答弁 有効だが、国県が責任を持つべき

栗野 明雄 議員

【栗野】

今回の大震災では、自治体そのものが移転を迫られる事態になっている。これまでの災害時応援協定は、そこまでは想定をしていない。そこで平時に人間関係を構築する意味もかねて、災害時応援協定を結べるところを探し、姉妹都市の提携を結び考えはないか。

【町長】

現状は「福井県・市町村災害時相互応援協定」を締結し、被災市町村では対応できない状況になったときは、相互に協力して支援を行うことになっている。

また、原子力発電所の立地自治体間でも相互応援協定を結んでいる。行政機能がまったく失われたときは、国や県が主導的に対応すべきものである。

【栗野】

避難道路は若狭地方は、東西の道路を整備しているが、南へ避難することが必要になる。西の鯖街道の整備が急がれるが対応は。

【町長】

石山峠の早期完成が必要である。

国・県に要望していく。

◆役場の人材育成を問う

【栗野】

役場職員の人材育成は重要である。まず、仕事をやらせてみるのが大切である。

【副町長】

研修参加や資格取得の促進もしている。業務委託や外部アドバイザーの活用も行っているが、説明責任は職員にあると認識を高めていく。外部の知見を高浜版にアレンジしたものにしていきたい。

◆ハザードマップの配布時期を問う

【栗野】

4月中旬までにハザードマップを配布することだったが、まだ配布されていない。いつ配布されるのか。

【総務課長】

東日本大震災を受け再検討することになった。県の危機対策・防災課と協議をし6月中には配布をしたい。各家庭では確認の上、日頃からの心構えに活用していただきたい。

地域医療の在りかたについて

答弁 医師確保が課題

廣瀬 とし子 議員



【廣瀬】

地方の医師不足が続いており、町民の不安が益々高まっている。救急の場合は身近な病院で医療をうけたいと思うのが常識である。休日及び、夜間医療体制は充実しているのか。今後、高浜病院の医療体制はどうなるか。

【町長】

病院の規模からすれば、必要な医師数が確保できていないのが現状である。以前より行政・高浜病院とともに医師の招聘に力を入れているが、全国的な医師不足の昨今、中々思うように医師確保が出来ていない。

今後高浜病院・行政が一体となって医師の招聘に全力であたる様務めていく。私自らも足を使って働きかけていきたい。

【廣瀬】

社会保険高浜病院の存続について、国のRFO（独立行政法人年金健康保険福祉施設整理機構）は、2年間延長を決定された。



まちづくり関連事業費について問う

答弁 適切な委託料・金額と考えている

清常 光洋 議員

【清常】

まちづくり関連事業費、主に外部アドバイザーへの委託料が3年間で約1億680万円は高額すぎるのではないかと。

まちづくり関連事業費(委託料等)一覧表

年度	件名	金額(単位円)
21年度 (決算)	高浜白富宮推進 支援業務委託他4件	19,383,000
	まちづくり人材支援業務他1件	9,082,500
22年度 (決算)	高浜白富宮推進 支援業務委託他6件	35,971,500
	まちづくり事業推進 人材派遣業務他1件	9,036,300
23年度 (予算)	高浜まちづくり推進 支援業務他4件	24,691,000
	まちづくり事業推進人材派遣業務	8,641,500
合 計		106,805,800

【町長】

過去2年間展開してきた対外的広報展開については一定の成果を得ており、来年以降はボリュームを絞ることも考えている。

◆政策推進費について問う

【清常】

アドバイザー業務委託料

240万円が予算計上してあるが、その業務内容とは。

【町長】

国会議員政策秘書の経験者に、国や県に対して適切な働きかけをサポートしてもらう業務であり、時給、旅費程度の実費である。

◆原発重視政策転換と高浜町の現状について

【清常】

福島第1原発の事故を受け、菅首相は従来の原発重視政策を転換し「自然エネルギーも「基幹エネルギー」にすると表明している。

町財政も町民生活も原発と共存している高浜町の今後について、町長の心境と今後のビジョンを問う。

【町長】

急激な政策転換、脱原子力は現実には困難と考えており、少なくとも今後30年から50年程度は、基幹電源の一つとして原発を堅持していく事が、日本の取るべき方向性であると考えている。

「まちづくり」事業策定の取り組みは

答弁 町民・議会・行政が方向性を合わせることが重要

上尾 徳郎 議員



【上尾】

事業策定する中で総合計画の周知・利用と、ワークショップは適正に運用されているか。

【町長・副町長】

総合計画に対する各事業の位置づけを明確にして「協働のまちづくり」の為、住民の参加しやすい環境を提供し、ワークショップでは話し合いの調整役の養成にも努める。

【上尾】

新庁舎の基本計画策定と、検討委員会の取り組みは。

【副町長】

基本計画策定は、庁舎の機能の検討や防災・コミュニティ機能も備えた庁舎となる様に、委員会を組織し検討する。

【上尾】

中央公民館基本計画で、高浜地区のコミュニティの拠点は。

【教育長】

①基本計画の策定として、概略施設等骨格がわかる図面の作成に入る。道路や都市計画に係る部分がありコンパクトシティ推進室を建設整備課に設け、業務を変更した。



防災訓練の実施計画を問う

答弁 住民参加の総合防災訓練を考えている

小幡 憲仁 議員

◆防災体制の充実について

【小幡】

- ①防災訓練の実施計画と「高浜町地域防災計画」への訓練結果の反映について問う。
- ②高齢者など災害時に自力避難が困難な「災害時要援護者」の把握と避難計画を問う。
- ③高浜町原子力防災計画の今後の見直し方針を問う。

【町長・総務課長】

①防災訓練は防災計画見直しと平行して進める。対策本部や他機関連携を充実し住民参加訓練とする。

②対象者の把握と名簿・マップ作成を進めている。重篤な方などの個別支援プランの策定も進める。

③県の原子力防災計画検討委員会に参画し、この委員会の動きに合わせて防災計画の見直しを進める。

◆安全・安心な海水浴場の整備について

【小幡】

- ①防災情報の海水浴客への周知のため、海浜エリアに町放送施設の設置が必要ではないか。
 - ②障がい者も海水浴が楽しめるよう、着までスロープを設置すべき。
- 【総務課長・まちづくり課長】
- ①緊急放送の周知は屋外拡声器の増設で対応したい。
 - ②車椅子用スロープ設置は県との協議が必要。観光協会等とも協議して検討する。

◆交通弱者の視点での道路整備について

【小幡】

高齢化が進む中、自転車や徒歩、電動カートでも安全に通行できる歩道・車道整備が必要。町内を全域調査し順次改修に着手すべき。

【建設整備課長】

都市計画マスタープラン策定の中で検討を進める。また、国道の狭小な歩道改修を国に要請している。

原子力発電の認識を問う

答弁 原子力防災対策をすすめる

渡邊 孝 議員



【渡邊】

これまで国、電力会社は、「原子力発電は四重五重の防護壁があり、炉心溶融事故は絶対に起きない」、「原発は安全である」と言い続け、野瀬町長も信じてこられた。

今回の福島原発事故は、これを事実でくつがえた。町長は「原発は危険だ」と認識を改められるか。

【町長】

原発は危険ではあるが、その安全対策は万全に行われていると認識してきた。
今後は「事故が起こったときにどうするか」の意識のもと、防災対策をすすめる。

◆子どもの医療費助成制度について

【渡邊】

高浜町の「子ども医療費助成制度」は現在、中学校卒業までとなっている。これを高校卒業までに拡充する考えはないか。

また、病院窓口で無料となる「現物給付」方式に充実できないか。

【住民課長】

他市町の動向や、今後の医療費の推移など検証を行う必要があり、現状では年齢の拡大は考えていない。

「現物給付」については、医療機関の協力の必要性、むやみな受診の増大などから現行方式の変更は考えていない。

◆住宅の耐震化を急ぐべき

【渡邊】

個人住宅の耐震化の喫緊の課題である。
耐震工事をすすめるために「住宅改修費助成制度」を拡充する考えはないか。

【建設整備課長】

まだまだ耐震診断・改修事業の利用が少ない。さらに制度の拡充をすすめる。

原子力発電は推進かストップか？

答弁 安全安心を確認の上今後も共生し推進！

山本 富夫 議員



【山本】

原子力施策の方向性。

【町長】

深刻な原発事故を目の当たりに尻込みする状況であるが、中期的に安全性を向上させ維持する考え。

【山本】

高浜発電所での地震・津波対策の状況と住民説明会の状況。

【総務課長】

国から事業者に対し、緊急安全対策実施指示。全交流電源喪失対策で津波による3つの機能維持。
4地区住民説明会を適宜開催する。

【山本】

原子力災害時における県道音海中津海線のバイパス化、野原港高浜線の改良実施について。

【建設整備課長】

今回の東日本大震災で、避難道路の重要性が再認識され2つの路線改良整備が一刻も早く進むよう鋭意粘り強く要望する。

【山本】

EPZ避難区域のあり方、特に

京都府との連携やオフサイトセンターの今後の考え方。

【総務課長】

京都府などへの県外避難や、オフサイトセンターの機能問題については、市町村での対応は難しい。国、県がしっかりと調整すべきで立地町としてしっかり要望する。

【山本】

今般の震災により防災ハザードマップを見直す考えは？

【総務課長】

震災による新たな知見で防災指針の見直しとなり、ハザードマップも必要に応じ見直す。

【山本】

高浜駅周辺の抜本的な排水対策について。

【町長】

汐入川の断面容量が耐え切れず浸水する状況。雨水を一時的に貯める調整池を複数設置。財政状況を見極めコンパクトシティの基本計画、都市計画マスタープランと合わせ検討する。

安全で安心して暮らせる町づくりを

西出 秀雄 議員



【西出】

洪水ハザードマップと津波、土砂災害マップの計画、総合的なマップを平成23年度作成し、全戸配布と聞いたが、いつになるのか。
又雨水対策の調整池とバイパス管を新設し海に放流する計画実施はいつか。

【町長】

ハザードマップの作成は、県との調整で今月中の配布を予定している。
雨水対策はコンパクトシティ基本計画と合わせ、再検討する。

◆チャイルドシート購入費助成について

【西出】

平成22年度チャイルドシート購入費助成事業を廃止したがなぜか今後シート購入費助成の検討はないか。

【総務課長】

平成12年度から10年間助成、少子化対策の観点から補助対象を第二子から改正。事業に取り組み、子ども

もの安全と、道路交通法遵守の促進につながったと認識。

子ども手当の導入、量販店などでは二万円台で購入できるなど、家庭の負担が軽減されているので廃止。今後とも乳幼児の着用、全席着用の徹底と交通安全の啓発をする。

◆LED外灯の設置について

【西出】

LED外灯の設置状況についてと補助制度は、区有灯のLED外灯にかえる計画を出したが、予算がないと断られたと聞く。

町総合基本計画にエコ化、省エネ化でLED外灯への取り替えを実施するとある。

【建設整備課長】

外灯LED化の推進は、平成22年度より、各区所有の外灯に3分の2以内で補助する事業を実施。平成23年度12区より申請、新設6灯、交換50灯である。今後、コミュニティを計りながら、更なる省エネ化に取り組み、町有灯や海岸灯などもLED化を進める。

予算決算常任委員会

委員長 西出 秀雄

◇6月10日（金）

審議事項

付託案件の審査

●議案第47号

平成23年度高浜町一般会計補正予算（第2号）

補正予算の概要

平成23年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ8億1,370万8千円を追加する。

審議の概要

雨天用屋外体育施設新築工事に関し質問があり、施設の場所の決定は、平成21年度から53ヶ所の候補地から、町有地の有効活用等をよく検討し、池田山公園の近くに決定した。天井はドーム型でテント白色である。昼は電気の照明が不可で維持費が軽減である。

対応年数は20年で、雪受けがあり積雪は1mをクリアしている。地すべり区域ではの質問があり、ボーリング調査をして問題ない。

施設の利用について、雨の日に使用が可能か、申請式で予約がある時はできない。

入口はスロープがあり室内に風が通る事や、男女のトイレ、更衣室があり、全面人工シバである。

間接照明は水銀灯を使用し全部で44灯になる。使用できる人数は100人ぐらい対応でき、西区の体育施設も使用して対応する。

コミュニティ助成事業補助金について、今年度は2件が確定した。紫水ヶ丘区・横津海区・東三松区です。林道の復旧工事は今寺区の、のり面改修である。

消防費の西三松区の地下貯水槽改修工事は、100tの大きさで耐震性があり、今後も計画的に改修を進める。

社会福祉施設整備補助金について、県の補助金は7,500万円で決定のこり50%を市町で負担する。

けいあい町の30床の増設に土地代4,200万円かかると答弁があり、次に中央体育施設擁壁改修工事は、物件保障であり、崩落調査は終了している。

その他にも、災害の対応、公共下水道についての質問があり、慎重に審議した結果、全員賛成で可決しました。

●議案第57号
平成23年度高浜町一般会計補正予算（第3号）

審議の概要

城山で台風2号の災害で土砂くずれがあるが、町全体で何ヶ所あるのか質問があり、80ヶ所以上である。対応は町と県、県単の補助で申請と調査に取りかかっている。復旧工事になる。

城山の修理と今後の管理については、要望で聞いているが、シルバー人材センターに管理を委託。今後も積極的に予算をつけていく。

公共下水道で高森工業団地までの歩道への工事で、光ケーブルへの影響は問題なく工事が出来る。

ゆりヶ丘は下水道がまだであるが計画は。答弁で来年度設計を予定している。平成26年をめどに計画している。

慎重審議の結果、全員賛成で可決しました。



台風2号に係る豪雨災害調査

【台風2号降雨量】

24時間雨量：332mm
(5/29 AM7:00~5/30 AM7:00)
1時間雨量：28mm
(5/30 AM2:00~3:00)

【災害復旧事業採択要件】

24時間雨量：80mm以上
1時間雨量：20mm以上
復旧工事費：60万円以上
(公共土木施設・林業施設)
復旧工事費：40万円以上
(農地・農業用施設)

総務産業常任委員会

委員長 磯部 武史

◇6月13日（月）

○当委員会に付託された、8議案と請願1件、陳情1件について慎重審議の結果、全案件を可決・採択した。

陳情第1号

■安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた要請、原発事故を踏まえた安全にかかる要請

安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた意見書

- (1) 戸別所得補償制度の充実
- (2) 農産物のブランド力強化対策
- (3) TPPなど国際貿易交渉
- (4) 鳥獣・病害虫による被害対策
- (5) 農村・地域コミュニティを守る対策
- (6) 原子力発電所事故防止未然対策
- (7) 災害時における補償対応
- (8) 原子力発電所事故に対する適切な予算措置
- (9) 災害時の情報公開の徹底について

TPPについては議論を深める必要性がある。

中央の政局等を考慮し、意見書の提出はもう少し先のほうが効果的ではないか。

意見書案の各項目は、深刻な状況であり速やかに採択すべき。

【賛成多数で採択】

議案第59号

■高浜町し尿受入施設整備工事請負契約

町内には様々な技術を持った業者がある。分離発注しなかったのはなぜか。

維持管理面を考慮しプラントメーカーになった。地元でできる範囲は地元業者に発注するよう指導している。

笹原の浄化ランドはどうなるのか。

機能は停止するが、取り壊し等については検討中。

大幅な維持コストの縮減が可能とあるが。

浄化ランドは1日30トン処理能力がある設備だが、今回の施設は4トンで、せ、らぎランドと共用できる機器類も多い。

維持管理には、年間1億666万8千円かかっていたのに対し、5、100万円になると試算している。

【全員賛成で可決】

◆日本二十五勝

郷土資料館にて「日本二十五勝」に選ばれた経緯 や当時の資料を基に研修した。

厚生文教常任委員会

委員長 横田 則孝

◇6月14日（火）

審議事項

付託案件の審査

●議案第48号

「平成23年度 高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第二号）」医療事務の委託料を臨時職員に予算を振替えることについての質問があり、労働者派遣法により期間の雇用延長が出来なくなったため、今後、臨時職員により対応したく予算の振り替え補正となったとの答弁があった。

討論は特になし。

【全員賛成で可決】



原子力対策特別委員会

委員長 清常 光洋

◇6月15日(水)

審議事項

- ①高浜町原子力防災について
- ②原子力に関する住民説明会について
- ③IAEA報告書の概要説明について

審議内容の要旨

①・②について総務課長より現在の町の取組について説明を受ける。委員からは福島第1原発の事故を踏まえ、これ迄の様に安全神話に則つた事なく、防災訓練にあつても実効性のあるものとし、原発に関する情報を完全に開示し、住民説明会で町長より説明のあつた避難道にあつても、早急に取組むよう意見があり、その他にも今後のオフサイトセンターのあり方や、EPZ(防災対策重点実施地域)についても質疑を行い、国・県と共に広域的に取組んで行く事を確認した。

③について原子力安全・保安院高経年化対策室石垣室長より福島第1原発の事故を受け、政府がIAEA(国際原子力機構)へ報告した概要

地域医療対策特別委員会

委員長 廣瀬とし子

◇6月16日(木)

高浜町の住民が安心して、医療を受けられることを目指し、医療体制の充実を図る為に、「地域医療対策特別委員会」を立ち上げ議員6名(新入議員3名)で構成され、今後活動する事を確認しました。

社会保険高浜病院を核とし、これ迄の経過と今後の課題について

高浜町地域医療推進室より説明を聞き、地域医療の再生は町づくりの第一歩と位置付け高齢者等が、安心して生活出来るか検討した。

何故医師不足なのか

医師の確保には、医師の定着を基本とし、働き易い環境を作り、又住民の意識改革が必要とし、今の病院の現状を把握した上、前進する考えを明らかにした。

今後委員会でも、夫々の委員が意見交換し「地域医療対策特別委員会」にて報告する。

鳥獣害防止対策特別委員会

委員長 山本 富夫

◇6月16日(木)

新たに設置された鳥獣害委員会の今後の取り組みについて、まちづくり課農林水産振興室の役割等の確認をした。

H23年度獣害対策当初予算の進捗状況を確認の後、横津海・高野・神野・山中地区の獣害防止柵や捕獲檻の設置状況等の現地視察、現状の駆除数や現状での問題点などを確認した。

高野地区では、高齢化で作づけするのにも4・5年で後継者が居なくなる状況が報告された。



神野地区電気柵現地視察

議会出前報告会(仮称)を開催します!!

議会運営委員会 委員長 小幡 憲仁

議会運営委員会では、町議会の機能を高め、活力ある発展に資するために、今年度より「議会出前報告会(仮称)」を開催することを概略決定しましたのでお知らせします。(詳細は時期になりましたら報告します)

議会出前報告会とは。

議会出前報告会は、議員自らが各地区に出向き、議会の活動状況を町民に報告するとともに、議会に対するご意見や町政に対する提言などをお聴きする場です。

年に2回開催します。

議会出前報告会は、年間2回(10月と4月)、町内4地区(和田、高浜、青郷、内浦)の公民館等に出向き開催します。各会場には議員4名程度が出向きます。町民の参加は自由。



嶺南広域行政組合議会

委員 山本 富夫

平成23年3月30日
敦賀市立図書館3階

第1号議案

平成22年度嶺南広域行政組合一般会計
補正予算(第1号)

核燃料の確定に伴い歳入で2億7、663万9千円増額、補正後の予算総額は10億5、666万9千円。

第2号議案

平成22年度嶺南広域行政組合一般会計
予算

歳入歳出予算の総額11億8、641万円。

第3号議案

嶺南広域行政組合規約の変更

3議案とも全員賛成で可決。

傍聴にお越しください

6月定例会には、高浜町商工会女性部の皆さんが傍聴にられました。

傍聴の手続きは、議会事務局で住所・氏名・年齢を記入していただくだけです。次回定例会は9月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局 0770-72-7710



商工会女性部の皆さん 女性議員と

まちかど散策



100万人の キャンドルナイトin高浜

青の里地球まるごと会議

夏至は一年でいちばん日照時間が長い日。今、日本をはじめとする地球のあちらこちらで『100万人のキャンドルナイト』という環境イベントが開催されているそうです。

めに薄ら灯りの中でDJの生ライブを聴きながら、おにぎりとお味噌汁をいただきました。

20時からは、すべての電気を消してローソクの灯りだけ。

高浜町でも、6月22日（水）「夏至の日」19時から、青の里 ゆつくり荘（西三松）で、「100万人のキャンドルナイト、でんきを消してスローな夜を。」（主催 エネルギーと暮らしの会・青の里地球まるごと会議）が行われ参加しました。はじ

風鈴の音、涼しい風、おぼろげに見える人影、心地よい空間にひたりながら、ゆつくりと語らひに耳をかたむける。

「今まで電気があることをあたり前と思っていたこと。誰かを責めるのではなく、人が驕っていたときのこと。電気がない頃、ランプのほや磨きと水汲みが日課だったこと。電気は火の神様という話。子や孫の未来のこと。原子力、資源エネルギーについて。今はまだ結論がでな



くて、ゆつくりこれからの未来のエネルギーについて語り合う場があることが素晴らしい。そして高浜ですることの意味がある。」夜更けまで話は尽きない。

いろいろな人々とひと時を共有できたことに感謝し、「二戸」灯



のつながりの和のように、高浜のあちらこちらでこのような語らいの場がもてることを祈りながら、ゆつくり荘をあとにした。

文責 大塚 ひとみ

「青の里地球まるごと会議」代表、日高裕美子さんから一言いただきました。

東日本大震災では、大地震・津波原発事故が複合したかつてない大災害で、防災対策がほとんど機能しなかったと思います。今も新聞報道されない日はありません。高浜町でも、この大災害からしっかりと教訓を受け、国はもちろん、自治体の政策活動に真剣な努力が求められると思います。

原子力対策特別委員会でも全員で慎重な議論をしています。

4月より議会構成もかわり、議会だよりもわかりやすい広報誌をめざしていきますのでご意見、ご感想を、お待ちしております。

編集後記

広報特別委員会

文責 井ノ元 康夫

委員長 磯部 武史

副委員長 大塚ひとみ

委員 上尾 徳郎

井ノ元 康夫

廣瀬とし子

清常 光洋

